

委員会審査報告

9月議会上程された議案は、常任委員会及び決算特別委員会に付託され、審査が行われました。その主な審査内容と結果をお知らせします

総務委員会

横井委員長・川瀬副委員長
三宮委員・伊藤正信委員・
武田委員

議案第38号 弥富市一般会計補正予算 (第2号)

問

人間ドック及び健康診断に係る補正額は何名分に相当するののか。

答

臨時職員12名分を計上したものである。

結果

全会一致で原案了承。

建設経済委員会

三浦委員長・伊藤勝巳副委員長
大原委員・佐藤高清委員・
炭竈委員・早川委員・
(委員外)那須議員・三宮議員・
伊藤正信議員

議案第37号 弥富市企業立地の促進に関する 条例の一部改正について

問

優遇制度が終了すると他の自治体へ移動してしまうという事例を聞くがどのように考えているか。

答

現在のところ本市ではそのような事例はない。今後、進出する企業に対しても十分協議をしながら進めていく。

議案第42号 平成26年度弥富市一般会計補正予算(第3号)

問

相続税に対する税制改正を考えると早期に事業認可を受け事業を進めていく事が事業実現に繋がるのではないか。

答

今回の補正は測量委託に対するもので一步前進するものと考えているが、地権者もこれだけでは安心できないことは承知しており、認可について県に対し、改めて伝えていく。

結果

原案2案は、全会一致で原案了承。

厚生文教委員会

山口委員長・鈴木副委員長
佐藤博委員・小坂井委員・
堀岡委員・那須委員・
(委員外)早川議員・伊藤正信議員

議案第33号 弥富市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

議案第34号 弥富市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

問

民間が運営の維持を考えると人件費や食料費というリスクの高いものを削減することに繋がるのではないか。

答

新制度になった場合でも給付措置として、施設型給付が措置される。

問

小規模保育や家庭的保育の需要見込み案をどう考えるか。

また現在、民間の参入計画はあるのか。

答

現在の入所児童を踏まえると、小規模保育が増えるとは考えていない。

また、今のところ民間の参入計画はない。

反対討論

市は慎重に対応していくというが、今回の制度は規制緩和することできさまざまな不安が残ることから賛同できない。

結果

賛成多数で原案了承。

議案第38号 平成26年度弥富市一般会計補正予算(第2号)

問

ささえあいセンターでの低所得者に対する補助が2分の1とあるが、低所得者の基準とは。

答

生活保護法による被保護世帯または、市民税の非課税世帯のことである。

問

障害者手当などについて返還金があるが、どこに返還するのか、また返還が生じる理由は。

答

返還先は、国及び県である。基準となる障害者の人数が前年度の数値により支給されるためである。

結果

全会一致で原案了承。

厚生文教委員会には、他に議案第31・32・35・36・39・40・41号が付託されました(議案名は、4頁の「議案等の賛否状況一覧」をご覧ください)が、質疑・討論なく、採決の結果、原案了承されました。なお、9月定例会では、決算特別委員会を設置し25年度の決算認定について審議しました。その審議の経過及び結果は次頁をご覧ください。

【次頁へ】